

木製マグネット

山梨県のメーカー、モック犬橋が製造する木製マグネット。木ならではの質感と小さくてころんとした丸いフォルムが特徴で、思わず「かわいい!」と手に取ってしまう。北海道のまりも、2020年の干支ねずみ、きのこ、温泉まんじゅう、青森のりんご、富士山。



海外みやげコレクション

旅の思い出をマグネットで持ち帰る。マグネットの本場アメリカではユーモアたっぷりのものが多く、価格も手ごろ。ビーチで見かける外国人老夫婦、ラスベガスのショーダンサー、台湾の国立故宫博物院の翠玉白菜(すいぎょはくさい)、ハワイ仕様のオバマ大統領、蒋介石、栓抜き型トランプ大統領、台湾の道路標識、臭豆腐。



エアラインシリーズ

空港のショップなどで販売されている、旅客機のマグネット。約4センチのミニサイズでさまざまな航空会社のものがある。ノースウエスト航空、日本航空が実施していたリゾート路線キャンペーン「リゾートチャ」の特別機体、ユナイテッド航空、全日空。



エースの会会員企業のマグネット

おみやげではないが、エースの会会員企業の商品やキャラクターのマグネットを紹介。マグスターさんいわく、入手先は過去のノベルティだったり友人にもらったり。年代もいろいろなのでパッケージは現在では見られないものも。ライオンこども用ハミガキと歯ブラシ、キッコーマンほりたて生しょうゆ、カルピス、アサヒ本生、タイハツのカクカクシカジカ、クラフトスライスチーズ、フィラデルフィアクリームチーズ、味の素アジパンダ瓶。



マグネット収集家マグスターさんのお話

マグネットの本場はアメリカ。1970年代からキッチン雑貨として、ウォルマートなどスーパーマーケットのレジ横に1つ99セントというかたちで売っていたようです。そのような安価なマグネットで冷蔵庫を飾るのが流行ったようで、当時のアメリカ映画を見ると、写真やメモがたくさん貼られているのが映っていたりします。

日本では80年代頃からソニープラザ(現プラザ)など輸入雑貨ショップでキッチン雑貨として売られていました。21世紀に入り小型で強力な磁石が登場したことで、文具の事務用品や雑貨系のマグネットはより凝ったデザインになり、かつては地名入りや名所モチーフが定番だったおみやげマグネットも、ご当地キャラクターやそのパロディ、B級グルメシリーズなど、ユニークに変化していきました。

ここにあるおみやげマグネットは、私のコレクションのほんの一部です。旅行や出張に行った友人に買ってきてもらったり、ネットオークションなどで購入したり。東京都内であれば、原宿、お台場、合羽橋、浅草あたりの外国人観光客向けのおみやげショップをチェックしています。

マグスター/祖母が冷蔵庫に貼っていたハワイみやげの野菜マグネットを見てからマグネットが気になるように。コレクション歴は20年。コレクション総数は1万個を超える。
http://magster.net/ magster

こんなにもある! 北海道熊シリーズ

ヒグマをイメージした“吠え熊”から始まり、“メロン熊”のブレイクをきっかけにさまざまな方向へと展開。もはや北海道に関係ないものも交じっているがそれもお愛嬌。マグスターさんも常に熊シリーズはチェックしているそうで、いま一番欲しいのはゴヤーモチーフの“沖繩熊”だそう。



※掲載品は全て私物です

おみやげマグネット

ご当地をかたどるマグネットはおみやげの定番品。旅の楽しさが伝わるささやかなプレゼントにぜひ!

全国ご当地マグネット

北海道から沖縄まで、各地を代表する食べものやキャラクターがモチーフに。本物そっくりに作られた精巧な仕上がりがすごい一言。北から、北海道のヒグマの顔とウニ、仙台のむすび丸とずんだ餅、東京のスカイツリーや浅草など名所、名古屋のエビフライ、京都のハツ橋、大阪のくいだおれ太郎、広島のもみじまんじゅう、香川の讃岐うどん、福岡の屋台ラーメン、沖縄のオリオンビール。

